

OZU 夢通信

国立大洲青少年交流の家は、青少年教育のナショナルセンターとして、国の政策課題や喫緊の青少年教育の課題に対応した事業を行っています。

令和5年度 教育事業 (予定)

教育事業の他にも、集団宿泊研修担当者会や大学カヌー実習等の研修支援活動、地域イベントへのブース出展を行っています。



地域探究プログラム

2023. 2024.
4月 - 2月



地域・社会にある課題解決に向けた取組を行うことで、郷土や自然に愛着をもち、新たな価値を創造する高校生の育成を図ります。

対象 高等学校生徒



6/17-18
土 日

青少年教育施設ボランティア養成講座



事業の運営協力などを担うボランティア人材及び地域社会へ貢献しようとする人材の育成を図ります。

対象 ボランティアに興味・関心のある高校生以上の青年

募集人数 30名程度

7/16 8/6
日 日



特色あるプログラム開発事業 チャレンジプログラム

カヌー活動を通して、困難なことにも積極的に挑戦する姿勢を養い、やり抜く力の育成を図ります。

対象 小学5~6年生とその保護者

募集人数 各回 30名程度

7/24-26
月 水

サマーキャンプ in 大洲



自主性や達成感、自己肯定感の向上を図るとともに、「社会を生き抜く力」の育成を目指します。

対象 愛媛県内の児童養護施設に入所の園生

募集人数 50名程度

8/22-27
火 日



伊予の伝承文化を学び伝えるリーダー村

愛媛の伝承文化を学び、先人の知恵と自然体験が融合した体験活動を行うことで、地域に根ざして活動しようとするリーダーを養成します。

対象 大学生

募集人数 15名程度

大学生が計画し、運営します

12/10 2024.
日 1/28 日



読書活動普及啓発事業

読書活動や体験活動を通して、多くの家族が交流できる場をつくり、体験活動等の重要性を広く普及・啓発します。

対象 子供とその保護者

募集人数 各回 15組程度

8/25-27
金 日



子どもむかし生活体験村

地域の自然や文化を大切にしようとする豊かな心と社会性を育みます。

対象 小学4~6年生 募集人数 20名程度



11/19 日



親子でSDGs 秋を楽しもう!

地球環境の保全や持続可能な社会への関心を高め、日常生活の中でSDGsを意識し行動する心情や態度を育てます。

対象 小学3~6年生とその保護者

募集人数 15組程度

2024.
1/21 日



書道で感動!親子でわくわく体験

書道体験や交流を通して、日本の伝統文化や芸術のすばらしさを体感することで、豊かな心を育みます。

対象 小学生・中学生とその保護者

募集人数 20組程度

日程、内容については変更が生じることがあります。詳しくはホームページをご覧ください。

お申し込み・お問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立大洲青少年交流の家

〒795-0001
愛媛県大洲市北只 1086

☎ 0893-24-5175
(受付時間 9:00 ~ 17:15)

✉ ozuzippy@niye.go.jp

☎ 0893-24-2909

🌐 https://ozu.niye.go.jp



事業の活動の様子、当機構のご案内や時事に関することなどをFacebookにアップしています。「いいね!」や「シェア」をしていただけると、とても励みになります。



交流の家が運営する公式のYouTubeチャンネルです。施設の利用方法や野外活動時の注意点などの動画を配信しております。ぜひ高評価ボタンとチャンネル登録をよろしくお願いします。

通年

おおずふれあいスクール

大洲市教育委員会との共催により開設された適応指導教室です。

対象 不登校児童・生徒(不登校傾向も含む)及び引きこもりがちな青少年

募集人数 15名程度



体験の風をおこそう

運動推進事業

「体験の風をおこそう」運動は、近年、社会が豊かで便利になる中で、子供たちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少してきている状況を踏まえ、子供たちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるかを広く発信し、社会全体で体験活動を推進していくことを目的とした運動です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

「体験の風をおこそう」運動ホームページ
<https://taikennokaze.jp>

令和5年度（予定） 日程、内容については変更が生じる場合があります。詳しくは当所ホームページをご覧ください。

親子でアウトドア



体験活動を通して、自然の素晴らしさ・体験活動の楽しさを実感します。

令和4年度 実施報告

7/2・7/10の午前・午後4回実施（7/17は中止）し、約200名に参加いただきました。親子での参加にしたことにより、子供たちだけでなく保護者も一緒になってカヌーを楽しみ、子供の生き生きとした姿や頑張っている姿から野外活動や体験活動の良さや大切さを実感していただきました。



10/21
土



体験フェスティバル in 交流の家

様々な体験プログラムを通して体験活動の裾野を広げるとともに地域住民の交流を図ります。また、10月の取組として「体験の風をおこそう推進月間」の「子ども体験遊びリンピック」を同時開催します。

令和4年度 実施報告

10/15に3年ぶりに「科学体験フェスティバル」と連携して実施し、1,250名に参加いただきました。「いい体験ができた。またやってほしい。」「時間が足りなかった。もう少し楽しみたいかった。」「スタッフの皆さんが優しくしたので子供も安心して参加できた。」等の声が聞かれました。

対象 大洲市近隣の青少年・一般



紙ひこうき飛ばし大会



ビニールプールでカヌー体験

9/3
日

カヌーツーリング版

9/24
日

カヌー体験版

11/12
日

防災体験版

対象 小学3～6年生とその保護者 募集人数 各回 25組程度



愛媛から

「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会

国立大洲青少年交流の家では、愛媛県内の青少年教育関係団体と連携して、運動を推進しています。この他、県内イベントへのブース出展や教育事業、交流の家の利用者への広報等を通して、普及を図っています。

【構成団体】宇和島山岳会／大洲青年会議所／愛媛県歴史文化博物館／愛媛県PTA連合会／大洲市教育委員会／大洲市カヌー協会／株式会社ケーブルネットワーク西瀬戸／愛媛県連合婦人会／愛媛県立大洲農業高等学校／愛媛県教育委員会事務局社会教育課／愛媛県国公立幼稚園・こども園教育研究協議会／国立大洲青少年交流の家（順不同）



子どもゆめ基金®

子どもゆめ基金とは、国と民間が協力して、子どもの体験・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする基金です。



イラスト／西村キヌ

子どもゆめ基金ホームページ
<https://yumekikin.niye.go.jp/>



子供たちが健やかに成長していくためには「適切な運動」、「調和のとれた食事」、「十分な休養・睡眠」が重要であり、子供たちの基本的な生活習慣を確立させ、生活リズムの向上を図るための取組を推進していくことが必要です。これらの生活習慣の確立を目指して、平成18年に「早寝早起朝ごはん」国民運動がスタートしました。

「早寝早起朝ごはん」全国協議会ホームページ
<https://www.hayanehayaoki.jp>

利用案内

国立大洲青少年交流の家は、具体的な計画を持つ団体であれば、青少年・青少年教育指導者・家族・企業など年齢を問わず多くの方がご利用いただけます。その他、詳細はホームページ・電話・メールでご確認ください。

● 利用申し込み

- ・空室情報をホームページからご確認ください。
- ・確認後、ホームページより仮申込を行ってください。
- ・4月～7月、9月～10月は6か月前から、8月、11月～3月は1年前から、申し込みいただけます。

● ご利用の経費（一人あたり）

青少年団体：無料
 青少年団体以外：一人1泊 900円

食事代	朝食	昼食	夕食	合計
中学生以上	530円	710円	810円	2,050円
小学生	510円	700円	790円	2,000円
3歳～未就学児	370円	440円	560円	1,370円
0歳～2歳	無料			

野外炊事やお弁当もあります。詳細はホームページでご確認ください。シーツ等洗濯料 300円

お申し込み・お問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構
 国立大洲青少年交流の家

☎ 0893-24-5175
 （受付時間 9:00～17:15）

✉ ozuzippy@niye.go.jp

🌐 <https://ozu.niye.go.jp>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、様々な活動が行われています。私たち一人ひとりがSDGsをじぶんごととして考え行動することが大切になります。



カレー作り SDGsバージョン

① 活動プログラムの開発

体験を通してSDGsへの興味・関心を高めるため、豊かな自然環境をいかしたアクティビティを基礎とする活動プログラムの開発を行っています。

② 体験活動の実施

問題解決型活動プログラム「SDGs体験パック」を実施し、SDGsへの理解を深める機会を提供しました。

③ できることから始めよう

所内に、節電・節水への意識を強化した掲示を行い、ユニバーサルデザインのフォントを使用した視覚的に分かりやすい表示をしています。

④ 一人一人への意識付け

利用者の意識を高めるため、「自分のできるSDGs宣言」や環境問題のプチ情報を掲示したSDGsコーナーを設置しています。

国立大洲青少年交流の家では、「できることから始めよう」を合言葉に目標達成に寄与する取組を積極的に進めています。



使用後は電源オフ
 ご協力をお願いします